

要請番号 (JL60916B33)

募集終了



国名	職種コード 職種	年齢制限	活動形態	区分	派遣期間	派遣隊次
ガボン	H105 看護師		個別	新規	2年	・ 2017/1 ・ 2017/2 ・ 2017/3

【配属機関概要】

1) 受入省庁名 (日本語)

保健・社会保障・国民連帯省

2) 配属機関名 (日本語)

国際財団 ランバレネ・アルベール・シュバイツァー病院

3) 任地 (モワイエン・オグエ州ランバレネ市) JICA事務所の所在地 (リーブルビル市)

任地からJICA事務所までの交通手段、所要時間 (バスで 約 4.0 時間)

4) 配属機関の規模・事業内容

ガボン・ランバレネで地域医療活動に生涯を捧げたシュバイツァー博士。博士の医療活動の精神を受け継ぎ、1981年に現在の病院が建設された。同病院には、総合科・救急外来科・外科・手術棟・小児科・産婦人科・母子保健科・精神科・放射線科・検査室・歯科・薬局等が設置される。2015年の受診者数は約22,500名。活動資金は、主に国際組織からの援助が基となる財団の資金となる。2016年7月からは、日本の支援により、同病院併設の医療研究センターにて国際科学技術協力プログラム(SATREPS)が開始される。(シュバイツァー病院の参考ページ:<http://www.schweitzerlambarene.org>)

【要請概要】

1) 要請理由・背景

同病院には、日本の支援として、これまで草の根・人間の安全保障無償資金協力「アルベール・シュバイツァー病院滅菌処理室機材整備計画」や、JICAボランティア(診療放射線技師JV)派遣により、5S改善、患者接遇改善などを行ってきた。同病院の医療従事者の知識・技術力は一定の水準にあるものの、さらなる病院業務の効率化や医療サービスの充実をねらい、経験あるJICAボランティアの協力が求められている。

2) 予定されている活動内容 (以下を踏まえ、隊員の経験をもとに関係者と協議して計画を立て、柔軟に内容を変更しながら活動を進めます)

同病院の母子保健科に配属され、配属先(配属科)同僚とともに、主に以下の活動を行う。

1. 来院する妊産婦や乳幼児の健康維持・改善のために必要なサポートを行う(妊産婦・乳幼児健診や母親への必要な知識の伝達・共有など)。
2. 週に2回行われる地域の訪問診療に係る業務サポートを行う。
3. 母子保健科のサービス向上、業務の効率化のために必要な助言や提案を行う。

3) 隊員が使用する機材の機種名・型式、設備等

母子保健科事務室・訪問診療時の車両(他スタッフと共有して活用)

4) 配属先同僚及び活動対象者

配属先同僚:約200名(医療従事者約150名、他病院運営サポート要員。交代制。)・病院長(50代男性1名)・病院管理者(男性1名)・看護師(30～50代15名)・他診療科等に配置される医療従事者・病院運営管理に携わるスタッフ、来院する患者など

5) 活動使用言語

フランス語

6) 生活使用言語

フランス語

7) 選考指定言語

【資格条件等】

[免許]：(看護師)

[学歴]：(大卒) 備考：ガボン側の意向

[性別]：() 備考：

[経験]：(実務経験) 5年以上 備考：実践力が求められるため

任地での乗物利用の必要性

不要

【地域概況】

[気候]：(熱帯雨林気候) 気温：(25～35℃位)

[電気]：(安定)

[通信]：(インターネット可 電話可)

[水道]：(安定)

【特記事項】

住居は、同性JICAボランティアと同居となる可能性があります。(JVのみ)

※ガボン国への派遣については、同国の今後の治安情勢の動向を見極めながら、その都度安全確認を行った上、最終的な派遣を決定しますので、派遣の延期や中止もありうる点、ご理解の上で応募願います。